令和８年度　　高島高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・ＩＣＴ機器をより一層活用し、学力の向上と進路実現を目指す

・部活動や学校行事等の活性化を図る　・生活環境の整備と充実を図る　・地域や保護者との連携に努める

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	全教職員が本校のスクール・ポリシーを理解し、教育目標である文武両道の精神に基づき指導にあたっている。	A		
	地域や保護者の期待に応え、本校生徒の実態を把握した教育活動を行っている。	A		
2　学習指導	教科の指導において工夫・改善しながら取り組み、生徒の学習習慣の確立や学力向上に努力している。	A		
	学習面において、生徒の能力や努力に対して適切に評価している。	A		
3　生徒指導	身だしなみ（頭髪・服装など）やマナー（挨拶・言葉遣いなど）について適切な指導を行っている。	A		
	学校は、いじめの重大性を認識し、その防止に努め、組織的に対応している。	A		
4　進路指導	進路指導に関し、必要な情報提供に努めている。	A		
	生徒の進路希望に応じ、丁寧に進路指導を行っている。	A		
5　特別活動等	生徒の高校生活が充実し、満足度の高い生徒会行事が実施されている。	A		
	部活動が活発に行われ、生徒の豊かな人間形成に繋がっている。	B		
6　学校図書館	生徒に必要な図書の購入・整備に努めている。	A		
	掲示板等を使って図書の紹介を行い、情報提供に努力している。	A		
7　保健・安全指導	健康診断や保健指導を通して生徒の健康の保持・増進に努めている。	A		
	生徒の相談に適切に対応している。	A		
8　人権教育	生徒一人ひとりの人権を大切にし、適切な人権教育を行っている。	A		
	人権に関わるＬＨＲを計画的に実施し、生徒の人権意識を育成している。	A		
9　環境教育	各教科や特別活動においてＳＤＧｓの視点を意識した学習活動のあり方を模索し、進めている。	B		
	校内や学校周辺の美化・清掃活動を日々行うとともにゴミの分別・減量や再利用に取り組んでいる。	A		
10　事務・管理	生徒が学校生活を営む上で、危険な箇所がないように適切な施設管理をしている。	A		
	親切丁寧な窓口対応（電話応対を含む）と省エネに努めている。	A		
11　その他 学校の取組	普通科と文理探究科が切磋琢磨し、その相乗効果によって学校が活性化するように努めている。	A		
	学校ＨＰやメール配信システムを活用し、積極的な情報の公開と保護者・地域との連携に努めている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https//www.takashima-h.shiga-ec.ed.jp/